

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年1月21日～2016年1月27日)

平成 28 年(2016 年)1 月 29 日

H E A D L I N E S

政治

憲法廷及び公共メディアの法改正等を巡る動き
 スティナ前外相, 野党・市民プラットフォーム党首に就任
 アウシュヴィツ＝ビルケナウ強制・絶滅収容所解放71周年記念式典の開催
 ヴァシチコフスキ外相, ファビウス仏外相と会談
 シュタインマイヤー独外相, ポーランドを訪問
 ポーランド・ロシア次官級協議の実施
 ヴァシチコフスキ外相, 欧州・ウクライナ・フォーラムに参加
 マチェレヴィチ国防相, リトアニア・ポーランド・ウクライナ旅団の始動式典に参加

経済

児童手当は4月1日導入予定
 商業施設税は3月後半導入予定
 12月の小売販売は4.9%増
 2015年の経済成長率は3.6%
 12月の失業率は9.8%
 世界のビジネスがポーランドへの投資に期待－開発大臣
 ITサービス輸出が伸長
 国有財産省の解体－国有財産大臣インタビュー
 公共調達をポーランド企業に－開発大臣
 原子力計画と電力投資に関するエネルギー大臣発言

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて
 パスポートダウンロード申請書のご案内について
 年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
内	政

憲法法廷及び公共メディアの法改正等を巡る動き【21日～25日】

21日、シドゥウォ首相は、下院に議席を有する政党の院内総務と会談し、憲法法廷判事15名の内の8名を野党推薦による選出とすることで問題を解決し、本件問題に関する専門家チームの設置等の妥協案を提示した。右妥協案に対し、クキス'15を除く全ての野党が反対姿勢を示し、協議は決裂した。

23日、民主主義擁護委員会(KOD)主催の憲法法廷及び公共メディアの法改正に対する抗議デモがワルシャワを始めとする全国36都市、及び欧州、米国等の国外主要都市にて実施された。

25日、欧州評議会(CoE)議員会議は、ポーランド情勢に関する議論の実施に関する投票を行い、賛成98票、反対89票で、右討議を行わないことを決定した。これを受けて、シドゥウォ首相は、ポーランド情勢は欧州が対応すべき問題ではなく、その点が理解され嬉しく思う旨述べた。

スヘティナ前外相、野党・市民プラットフォーム党首に就任【26日】

26日、最大野党・市民プラットフォーム(PO)は党首選挙の結果を発表し、唯一の候補者であったスヘティナ前外相が同党党首に就任した。同新党首は、POは有権者の信頼を回復して再び勝利しなければならない旨述べた。

アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制・絶滅収容所解放71周年記念式典の開催【27日】

27日、アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制・絶滅収容所跡地にて、同収容所解放70周年記念式典が開催され、ドゥダ大統領、当地外交団、元被収容者等が参加した。ドゥダ大統領は、アウシュヴィッツは単なる博物館ではなく、我々に警告を与える存在である旨述べた。

外交・安全保障

ヴァシチコフスキ外相、ファビウス仏外相と会談【21日】

21日、ヴァシチコフスキ外相は、ダボス会議の機会にファビウス仏外相と個別会談を行い、主に二国間関係、ウクライナ情勢、NATOワルシャワ首脳会合に向けた準備、ワイマール・トライアングル(ポ・独・仏)協力につき意見交換した。

シュタインマイヤー独外相、ポーランドを訪問【21日】

21日、シュタインマイヤー独外相がワルシャワを訪問し、シドゥウォ首相及びヴァシチコフスキ外相と会談を行った。両会談では、主に二国間関係、東欧政策、安全保障政策及びNATOワルシャワ首脳会合、欧州内の問題等につき意見交換が行われた。ヴァシチコフスキ外相は、シュタインマイヤー外相の今次訪問は両国関係が堅固な基盤の上で良好な状態にあることを改めて示すものである旨述べた。

ポーランド・ロシア次官級協議の実施【22日】

22日、ジュウコフスキ外務次官とチトフ露第一外務次官によるポーランド・ロシア次官協議がモスクワにて実施され、スモレンスクにおける政府専用機墜落事故の機体返還問題、ポーランド国内のロシア関

連の記念碑・墓地等の取り扱いを巡る問題、外交施設の不動産問題を含む二国間議題、ウクライナ情勢等に関する意見交換が行われた。

ヴァシチコフスキ外相、欧州・ウクライナ・フォーラムに参加【24日】

24日、ヴァシチコフスキ外相は、ウッチにて開催された第9回欧州・ウクライナ・フォーラムに参加し、ウクライナは主権国家として自国の発展及び対外政策の方向性につき選択する権利を有しており、ポーランドはこの点においてウクライナを支持している、ポーランドはウクライナにおける国際法違反を受け入れない旨述べた。

マチェレヴィチ国防相、リトアニア・ポーランド・ウクライナ旅団の始動式典に参加【25日】

25日、マチェレヴィチ国防相は、リトアニア及びウクライナの国防相と共に、ルブリンにて開催されたリトアニア・ポーランド・ウクライナ旅団(LitPolUkrbrig、兵士4,000名規模)の始動式典に参加した。マチェレヴィチ国防相は、同旅団はこれまで上手く機能しており、NATO東方地域において重要な役割を果たすことになる旨述べた。

経	済
---	---

経済・財政政策

児童手当は4月1日導入予定【24日】

ラファルスカ家族・労働・社会政策大臣はTVN24の番組において、児童手当「ファミリー500プラス・プログラム」は4月1日に導入予定であり日程の変更はない、給付額の削減や給付年齢の引き上げもなく、ポーランドの人口動態の悪化(少子高齢化)の改善を目指すものと発言。これに先立ちシドゥウォ首相は22日 TVPInfo テレビのインタビューで、児童手当法案は2月に国会に提出予定と発言。他方、27日の報道では地方自治体は準備が整わないとして導入延期を要請している。

商業施設税は3月後半導入予定【27日】

シヤワマハ財務大臣は27日、与党「法と正義」(PiS)の目玉公約の一つだった商業施設税に関し、当初の3月1日ではなく3月後半に導入予定と発表。25日に財務省が発表した法案によれば、ひと月あたりの売上が3億ズロチ以下の商店に0.7%、それ以上の商店には1.3%、土日休日の売上に対して1.9%の累進課税となり、アウトレットやチェーン店等全ての商店に課税される。なおこの税による2016年の歳入見込みは20億ズロチ。

マクロ経済動向・統計

12月の小売販売は4.9%増【21日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の小売販売は対前年同月比4.9%増。対前月比では21.5%増。

2015年の経済成長率は3.6%【26日】

中央統計局(GUS)によれば、2015年のGDP成

長率は3.6%で2014年の3.3%を上回った。投資は6.1%、国内需要は3.4%の増加。

12月の失業率は9.8%【27日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の失業率は9.8%で一桁台を維持、登録失業者数は23万2,400人。

ポーランド産業動向

世界のビジネスがポーランドへの投資に期待－開発大臣【25日】

世界経済フォーラム(ダボス会議)に出席したモラヴィエツキ開発大臣は、会議の傍ら欧州委員会を始めとする要人と会談を行った。その中で、欧州市場統合やウクライナへの経済支援に関する議論やポーランドの中小企業が差別的な待遇をEU内で受けている実態を訴える等したという。そのほか世界的な企業のトップともポーランドへの投資等に関し意見交換を行ったが、その中では企業側からポーランドの財政赤字水準や長期的な財政の安定性について質問があり、S&P社による格付けの引き下げについては質問は出なかったという。

ITサービス輸出が伸長【25日】

中央統計局の発表する海外貿易に関する年次報告書によれば、通信、IT及び情報サービスの外国への2015年の輸出額は134億ズロチに達し、黒字は39億ズロチであったという。主な輸出先は、英国、独、米となっており、それぞれへの輸出額は16~20億ズロチとなっている。

国有財産省の解体－国有財産大臣インタビュー【26日】

ヤツキエヴィツ国有財産大臣は、インタビューの中で、2017年早期に行われる同省の解体後に向けた、国有企業の管理等に関する検討を始めたと言った。同大臣は、解体後の組織の形態が政府系機関若しくは企業となることが想定されるが、国有企業をより競争力を持つ力強いものとするだろうと述べた。また、国有企業をエネルギーや食品といった分野に再編する構想や現在のPAIIZやPARPといった政府系の経済支援機関が統合した際には国有企業がその活動を支援する構想などを紹介した。

公共調達をポーランド企業に－開発大臣【27日】

モラヴィエツキ開発大臣は、経営者団体の主催する会合において、ポーランド国内において年間1,500~1,600億ズロチが公共調達に支出され、GDPの10%を占める現状を指摘しつつ、それら公共調達はポーランド企業によって担われるべきとの認識を示した。同大臣は、公共調達に関する法改正の必要性についても言及した。

エネルギー・環境

原子力計画と電力投資に関するエネルギー大臣発**言【27日】**

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、エネルギーに関する会合の中で原子力計画については引き続き自身並びに省として進める意向であるものの、現時点での優先度は国内にある数多くの発電所への投資を行うことであると述べた。原子力発電所1基分の

建設コストが高額であることにふれ、それと同等のコストで既存の複数の発電所を現代化し寿命を15～20年延長することができることも述べた。

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて

大使館は、3月15日(水)15時から19時までの間、HOTEL Mercure Wroclaw Centrum内、会議室(pl. Dominikanski 1, Wroclaw 50-159)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/wroclaw.shucchou2016.pdf>

パスポートダウンロード申請書のご案内

来年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されます。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会:「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Mangghaにて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html

【開催中】原貴之氏による個展:「Before we fall again」【1月15日(金)～3月16日(水)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、繊細なドローイングで定評のあるアーティスト原貴之氏による個展:「Before we fall again」が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/en/exhibition/59>

【予定】日本の春の日展【1月29日(金)～31日(日)】

ウツジ市にて、梅田良忠教授記念ポーランド日本語教育文化センター主催による『日本の春の日展』が開催されます。日本に関する講演、ワークショップなどが予定されています。

開催場所: ウツジ市, Ogród Botaniczny, ul. Retkińska 39

【予定】日本人アーティストによるチャリティーピアノコンサート【2月8日(月)17:30～】

ワルシャワ市にて、ポーランド市民交流友の会主催によるシヨパン音楽大学ピアノセミナー修了コンサートが開催されます。入場は無料です。

開催場所: ワルシャワ市, I Zbor Kosciola Chrzescijan Baptystow, ul. Walicow 25

【予定】水曜映画上映会「ALWAYS 続・三丁目の夕日」【2月17日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「ALWAYS 続・三丁目の夕日」が開催されます(日本語音声, 英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)